

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年3月/日

団体名 農村輝きネット・おかざき

代表者 深津 トシ

構成員 9人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

地元産農産物を利用した加工食品のPR・開発活動を通じて、特産品の創出や地域活性化を促進し、地産地消意識の啓発を図る。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益※1を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※2		
8月24日	東部地域 交流センター	市民	15人	6人	とうがらし味噌づくり	額田地域で生産した とうがらし福耳を利用した 加工体験を通して交流を深めた。
10月19日	東部地域 交流センター	市民	24人	7人	シャインマスカット大福 づくり	岡崎産のぶどうを利用 した加工体験を通して、 地産地消意識が向上した。
11月4日 5日	乙川 河川敷	農林業祭に来場 市民	500人	13人	増の ・ちびりもち平餅販売 ・地元産農産物や加工 品の販売	地域活性化の促進 ができた。
令和6年 1月19日	東部地域 交流センター	市民	24人	8人	ちびり味噌づくり	岡崎産の大豆と米を原料 とした味噌造りを通して 地産地消意識啓発ができた。

※1 公益 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 会員 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

参加された方々のアンケート調査の内容から、大変喜ばれ、次回も参加したいとの声が多かったため。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。